

教科名	芸術	科目名	書道 I	学年	1学年	授業形態	選択必修	
使用教科書・使用教材				単位数	2	授業時数	78	
『書 I (教育図書刊)』								
学習目標	東洋独自の伝統芸術である書の美を学ぶことで文化・歴史を感受し、教養を育てる。 書写能力の向上と文字に関する基礎知識を深めることで、文化へのより深い興味・関心を育てる。 古典作品に触れ、芸術に親しむ心を養い、情操を豊かにする。							
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等				
	一学期	オリエンテーション 書体の変遷 漢字の基礎知識 硬筆書法 楷書法の基本用筆及び基本点画 楷書法・演習 I 楷書法・自運 細字書法 楷書法・演習 II 楷書法・演習 III		<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容と用具・用材の基礎知識 ●書体の変遷の流れとその歴史背景との関連を知る。 ●筆順の大原則・特例・由来及び筆順と文字造形の関連について。 ●筆記具の持ち方、姿勢、活字体と書写体の相違について。 →漢字・かなの基礎書法を参考手本によって確認する。 ●用具・用材の特性を知り、用筆・運筆法の実践をする。 →運筆・用筆の安定と完成度を添削によって指導・確認する。 ●孔子廟堂碑と九成宮醴泉銘臨書（楷書の基本結構） →字巾の変化の取り方の理解と実技を添削によって指導・確認する。 →偏旁の基本的造形法の理解と実技を添削によって指導・確認する。 ●これまでに学習した基礎力を応用して自力で作品をまとめる。 ●小筆の執筆・運筆・用筆法、姿勢の確認及び実践する。 ●蘇慈墓誌銘と自運（漢詩文） →臨書と自運を繰り返すことで、楷書の用筆・結構・章法をよりしっかりと身につける。 ●雁塔聖教序と顔氏廟碑の比較的臨書 →執筆・運筆・用筆法の相違による表現の違いを知る。 →執筆・運筆・用筆法の相違による表現の違いを知る。 				
	二学期	行書の基本用筆及び基本点画 行書法・演習 I 行書法・演習 II 行書法・演習 III		<ul style="list-style-type: none"> ●行書の成立と特徴及び楷書の用筆・運筆法との相違の理解 →筆の回し込み・返し・腕法と手法を習得する。 ●集字聖教序の臨書（行書の基本結構） ●蘭亭序の臨書 →筆の浮沈を利かせ、回し込みと返しを正確に使って、文字の筆脈をとり、筆路を正確に読み取りながら運筆のリズムを習得する。 ●興味・関心をもつ古典を選び、その内容をよく観察し臨書 →各古典の用筆・運筆・結構の特長をしっかりと習得・感得する。 				
	三学期	創作 まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ●条幅作品（半切二行書き）の作成 →条幅作品を制作し、均衡構成を学習し、筆脈の貫通・文字の外形及び線の太幅の変化による行書の構成美を習得する。 ●作品構成の方法の理解と表現（色紙作品） →想像力を働かせ、しっかりと構想を練り、作品のイメージを固め、推敲を重ねて、個性を発揮した作品の制作を行う。 ●清書作品をまとめて表紙をつけ、作品集を作成する。 				
	評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> ★観点＝授業に積極的に参加し、課題内容に応じた表現が出来たか。その到達度。 ★方法＝課題の提出状況と到達度。学習態度・出席状況などを総合的に判断する。 						